

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 特 許 公 報 (B2)

(11) 特許番号

特許第5118196号
(P5118196)

(45) 発行日 平成25年1月16日 (2013. 1. 16)

(24) 登録日 平成24年10月26日 (2012. 10. 26)

(51) Int. Cl.	F 1
B 6 5 D 85/10 (2006. 01)	B 6 5 D 85/10
B 6 5 D 5/66 (2006. 01)	B 6 5 D 5/66 3 O 1 C
B 6 5 D 83/02 (2006. 01)	B 6 5 D 83/02 A

請求項の数 16 (全 11 頁)

(21) 出願番号	特願2010-514158 (P2010-514158)	(73) 特許権者	392003937
(86) (22) 出願日	平成20年5月13日 (2008. 5. 13)		ジー. デー ソチエタ ペル アツィオニ
(65) 公表番号	特表2010-531788 (P2010-531788A)		G. D S O C I E T A P E R A Z I
(43) 公表日	平成22年9月30日 (2010. 9. 30)		O N I
(86) 国際出願番号	PCT/IB2008/001257		イタリア国, ボローニャ 4 O 1 3 3, ビ
(87) 国際公開番号	W02009/004421		ア バッティンダルノ 9 1
(87) 国際公開日	平成21年1月8日 (2009. 1. 8)	(74) 代理人	100099759
審査請求日	平成23年2月3日 (2011. 2. 3)		弁理士 青木 篤
(31) 優先権主張番号	B02007A000456	(74) 代理人	100092624
(32) 優先日	平成19年7月2日 (2007. 7. 2)		弁理士 鶴田 準一
(33) 優先権主張国	イタリア (IT)	(74) 代理人	100102819
			弁理士 島田 哲郎
		(74) 代理人	100130133
			弁理士 曾根 太樹

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 タバコの包装容器

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

タバコの群 (4) と、タバコの群 (4) を包み、中央のタバコの拔出し開口 (5) を有する内側包装容器 (3) とを備えるタバコの包装容器 (1) であって、

タバコの群 (4) に弾性的な押圧力を働かせ、タバコの群 (4) を拔出し開口 (5) に対向する中央位置に保持するように、内側包装容器 (3) の両側において、内側包装容器 (3) の内側に配置されている 2 つの弾性体 (2 8) を備えることを特徴とする、包装容器。

【請求項 2】

タバコの抜き出し開口 (5) は、内側包装容器 (3) の前壁の限定された一部分、および内側包装容器 (3) の上壁の限定された一部分にわたって延びていることを特徴とする、請求項 1 に記載の包装容器。

【請求項 3】

硬質の材料で形成され、内側包装容器 (3) の内側に配置され、タバコの群 (4) に接触し、2 つの弾性体 (2 8) を支持するほぼ U 字状の補強材 (2 3) を備えることを特徴とする、請求項 1 または 2 に記載の包装容器。

【請求項 4】

補強材 (2 3) は、タバコの群 (4) の底壁に接触して配置されている底壁 (2 4) と、底壁 (2 4) の短い辺に接続され、タバコの群 (4) の小さな側壁に接触して配置されている 2 つの側方タブ (2 5) とを備えることを特徴とする、請求項 3 に記載の包装容器

。

【請求項 5】

補強材（23）のそれぞれの側方タブ（25）は、タバコの群（4）の上壁の上に折られている上部付加物を有することを特徴とする、請求項 4 に記載の包装容器。

【請求項 6】

補強材（23）のそれぞれの側方タブ（25）は、少なくとも2つのそれぞれの長手方向の折り線に沿って折り曲げ可能である2つの側方部分を備えることを特徴とする、請求項 4 または 5 に記載の包装容器。

【請求項 7】

それぞれの弾性体（28）は、補強材（23）のそれぞれの側方タブ（25）に一体化されていることを特徴とする、請求項 4, 5 または 6 に記載の包装容器。

【請求項 8】

それぞれの弾性体（28）は、少なくとも部分的にアコーディオンの形状に折られている厚紙のシートにより画定されていることを特徴とする、請求項 1 から 7 のいずれか一項に記載の包装容器。

【請求項 9】

それぞれの弾性体（28）は、アコーディオンの形状に折られている多数のパネル（30）を有することを特徴とする、請求項 8 に記載の包装容器。

【請求項 10】

それぞれの弾性体（28）は、それぞれの長手方向の折り線（29）の周りにアコーディオンの形状に折られる3つのパネル（30）を備えることを特徴とする、請求項 9 に記載の包装容器。

【請求項 11】

それぞれの弾性体（28）は、中央パネル（31）と、側方パネル（32）の2つの群とを備え、それぞれの側方パネル（32）の群における側方パネル（32）は、アコーディオンの形状に折られていることを特徴とする、請求項 8 に記載の包装容器。

【請求項 12】

それぞれの側方パネル（32）の群は、それぞれの長手方向の折り線（29）の周りにアコーディオンの形状に折られている2つの側方パネル（32）を備えることを特徴とする、請求項 11 に記載の包装容器。

【請求項 13】

弾性体（28）は、拔出し開口（5）から所定の距離を空けて配置されるように、内側包装容器（3）よりも高さが低いことを特徴とする、請求項 1 から 12 のいずれか一項に記載の包装容器。

【請求項 14】

中央のタバコの拔出し開口（5）は、覆い蓋（6）により閉じられることを特徴とする、請求項 1 から 13 のいずれか一項に記載の包装容器。

【請求項 15】

覆い蓋（6）は、再使用が可能であり、乾燥せずに再貼付けが可能な接着剤により内側包装容器（3）に固定されていることを特徴とする、請求項 14 に記載の包装容器。

【請求項 16】

内側包装容器（3）を収容し、カップ形状を有し、および開口した上端部（7）を有する硬質の外側容器（2）と、

開位置と閉位置とのそれぞれの間で開口した上端部（7）を開いたり閉じたりしながら、外側容器（2）に関して回転するように、ヒンジ（9）に沿って外側容器（2）にヒンジ連結されているカップ形状の蓋（8）とを備えることを特徴とする、請求項 1 から 15 のいずれか一項に記載の包装容器。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

10

20

30

40

50

本発明は、覆い蓋が取り付けられられた内側包装容器を有するタバコの包装容器に関する。

【0002】

以下の記述においては、簡略化のために、単に非限定的な例示の方法により、硬質のヒンジ連結された蓋のタバコの包装体について参照する。

【背景技術】

【0003】

硬質でヒンジ連結された蓋のタバコの包装体は、製造し易く、実用的であり、使い易いことにより、そして、内側にタバコを効果的に保護することにより、現在では最も広く市場で売買されている。

10

【0004】

硬質のヒンジ連結されたタバコの包装体は、内側の金属箔の包装材のシートに包まれたタバコの群により画定される内側包装容器と、内側包装容器を収容する硬質の外側包装容器とを備える。外側包装容器は、タバコの群を収容し、開口した上端部を有するカップ形状の容器と、開位置と閉位置とのそれぞれの間で開口した端部を開いたり閉じたりしながら、容器に関して回転するようにヒンジに沿って容器にヒンジ連結されたカップ形状の蓋とを備える。U字状に折られたカラーは、通常は、容器の内部に取り付けられ、蓋が閉位置になったときに、対応する蓋の内面と係合するように、開口した端部の外側に向かって部分的に飛び出している。

【発明の概要】

20

【発明が解決しようとする課題】

【0005】

タバコは、非常に環境に敏感である。すなわち、大気と接触すると、タバコの有機的特徴は、湿度の変化とともに（過度の水分を失ったりまたは吸収したりすることにより）変化する傾向があり、または、タバコに染み込ませた揮発性物質の蒸発のために（特に、丁字のような香辛料と共に取り扱われる芳香を有するタバコの場合には）変化する傾向がある。タバコを保存するために、タバコの包装体は、それ故に、セロファン（登録商標）で包まれ、すなわち、気密性を有する樹脂材料の熱融着される上包に包まれている。しかしながら、特に、包装体の製造の後にしばらく消費されたときには、このことは包装体の中にタバコを完全に保存することが必ずしも十分ではない。さらに、包装体が開封され、上包みを取り除かれ、このようにタバコが大気に露出したときに、および、もしも包装体が開封された後に、暫くしてもタバコが消費されなかったときには、残ったタバコの有機的特徴は、明らかに劣化するであろう。

30

【0006】

この欠点を解消する試みにおいて、硬質なタバコの包装体が提案されてきており、ここでは、内側包装容器は、熱融着されて気密性を有し、再使用可能な覆い蓋により閉じられるタバコの抜き出し開口を有する気密性の内側包装材のシートを備える。換言すれば、覆い蓋は、タバコの抜き出し開口を閉じる閉位置に覆い蓋を繰り返し固定する固定手段（例えば、乾燥せずに再貼付けが可能な接着剤の細長材）を有する。

【0007】

40

内側包装容器がタバコの抜き出し開口を有する気密性の包装材のシートを備える硬質のタバコの包装体の1つの問題は、一旦、いくつかのタバコが取り出されると、内側包装容器がつぶれる傾向にあり、従って残っているタバコを引き出すことが難しくなり、そして、特に覆い蓋を開閉することが難しくなる。さらに、気密性の内側包装材のシートの重ねられる部分を熱融着するとき、タバコは機械的な圧力を受けて、局所的な変形および／またはタバコの副次的な影響が生じる結果になり、そして、熱的な応力を受けて、タバコの局所的な劣化が生じる結果になる場合がある。

【0008】

問題を解決するために、気密性の内側包装材のシートを折り曲げたり熱融着したりするときに、内側包装容器の形状を維持し、タバコを保護するために、厚紙の補強材の形で、

50

内側包装容器の内側において、タバコの群の周りに硬質のカラーを挿入することが提案されてきている。しかしながら、タバコの群の周りに内側包装材のシートを折り曲げる前に、タバコの群の周りに硬質のカラーを配置および折り曲げることは、標準的な包装機械においては極めて困難であり、このことは、この種類の包装体は、標準的な種類のものに相当する機械よりも非常に高価な特別の包装機械が必要になることを意味する。

【0009】

さらに、気密性の内側包装容器を製造するために現在に用いられている気密性の内側包装材のシートは、少なくとも1つの金属箔の内側層と、熱融着の樹脂の外側層とを備える多層の包装材により形成されている。この結果、シートは、厚く、強く、および、それ故に曲げ難くなっており、そして、タバコの群の外面形状を忠実に再生することができずに（すなわち、四角形の角を形成することができずに）、このように、一般的に使用者に不人気の「凸状の」気密性の内側包装容器になっていた。

10

GB 311957 A 号明細書および US 1790370 A 1 号明細書には、一方の端部が開口している袋のような外側のケースと、その中でスライド可能であり、空気及び防水材料に包まれるタバコを含む内側の引出し部分とを備えるタバコの包装容器が開示されている。

【課題を解決するための手段】

【0010】

本発明の目的は、前述の欠点を排除するように設計されると共に、安価で製造することが容易なタバコの包装容器を提供することを目的とする。

20

【0011】

本発明に従えば、添付の特許請求の範囲において請求されているタバコの包装容器を提供することができる。

【図面の簡単な説明】

【0012】

【図1】本発明に従ったタバコの包装体の閉じた形態において、正面側から見たときの斜視図である。

【図2】図1のタバコの包装容器の開いた形態において、正面側から見たときの斜視図である。

【図3】図1のタバコの包装容器の閉じた形態において、背面側から見たときの斜視図である。

30

【図4】図1の包装容器の内側包装容器を正面側から見たときの斜視図である。

【図5】図4の内側容器を分解したときの斜視図である。

【図6】図4の内側包装容器の他の形態である。

【図7】図4の内側包装容器の更なる実施形態の上面図である。

【図8】図7の内側包装容器の断面図である。

【図9】図7の内側包装容器の補強材の斜視図である。

【図10】図7の内側包装容器の補強材の展開図である。

【図11】図7の内側包装容器の変形の断面図である。

【図12】図11の内側包装容器の補強材の展開図である。

40

【発明を実施するための形態】

【0013】

本発明の多数の非限定的な実施形態が、添付の図面を参照して例示によりに記述されるであろう。

【0014】

図1、図2および図3における符号1は、概して、硬質の厚紙で形成されたカップ形状の外側容器2と、容器2の内部に収容されている内側包装容器3とを備える硬質のタバコの包装体を示す。包装容器3は、平行六面体形状のタバコの群4を収容し、そして、上部の前側には、再使用が可能な覆い蓋6により閉じられ、包装容器3の前壁の一部分および包装容器3の上壁の一部分を覆って延びている中央のタバコの拔出し開口5を有する。

50

【0015】

外側容器2は、開口した上端部7と、ヒンジ9に沿って容器2にヒンジで連結され、容器2に関して、開位置（図2）と閉位置（図1および図3）との間で回転し、開口した上端部7をそれぞれ開いたり閉じたりするカップ形状の蓋8を有する。

【0016】

蓋8が閉位置では、外側容器2は、長方形の平行六面体形状を有し、互いに向かい合っており平行な上壁10および底壁11と、向かい合っており平行な2つの大きな側壁12および側壁13と、向かい合っており平行な2つの小さな側壁14とを備える。より特定的には、1つの大きな側壁12は、外側容器2の前壁12を画定し、そして、他の大きな側壁13は、外側容器2の後壁13を画定する。4つの長手方向の端15は、側壁14と前壁および後壁12, 13との間に画定され、8個の横方向の端16は、上壁および底壁10, 11と、前壁、後壁および側壁12, 13, 14との間で画定されている。

10

【0017】

包装体1は、カラー17を備え、カラー17は、開口した上端部7の外側に部分的に飛び出し、蓋8が閉位置になるときに蓋8の対応する内面に係合するようにU字に折られて、外側容器2の内側に固定され（通常は接着され）ている。カラー17は、硬質の厚紙により形成され、そして、外側容器2の前壁12に接触する前壁18と、前壁18の両側に配置され、外側容器2の小さな側壁14に接触する2つの側壁19とを備える。

【0018】

好ましい形態においては、カラー17は、2つの側方突出部20を有し、側方突出部は、蓋8を閉位置に保持するために蓋8の側壁に干渉しながら係合する。

20

【0019】

好ましい形態においては、覆い蓋6は、覆い蓋6の裏面に塗布されている乾燥しない再貼付けが可能な接着剤を用いて包装容器3に固定されており、そして、拔出し開口5の全体に関して延びており、したがって、覆い蓋6は、包装容器3から部分的に繰り返して取り外すことができ（すなわち、それぞれの回においてタバコの包装体1が開かれ）、そして、次に包装容器3の表面に戻されて固定される。覆い蓋6は、好ましくは、覆い蓋6を掴んで持ち上げることができ、そして、再貼付けの接着剤を有しておらず、カラー17の前壁18の表面に置かれる底の掴みタブ21を有する。言い換えれば、覆い蓋6を持ち上げるために、使用者は、カラー17の前壁18に少しも固定されていない掴みタブ21を単に掴む。

30

【0020】

図示されていない他の実施形態においては、包装容器3は、拔出し開口5を有しておらず、および覆い蓋6を有しておらず、そして引き裂き線により包装容器3の残りの部分から分離され、包装容器3が開封されたときに引きちぎられる除去可能な上部を有している。好ましくは、包装容器3は、引き裂き線に沿って包装容器3を引き裂いて開口するための引き裂きの細長材を有する。

【0021】

図1から図5に示されるように、包装容器3は、包装材の四角形のシート22を折ることにより形成され、包装材は、透明で気密であり熱融着の樹脂材料（典型的にはポリプロピレン）から形成されており、そしてタバコの群4の周りに直接的に折り曲げられ、タバコに直接的に接触する。包装容器3を形成するために、包装材のシート22が、タバコの群4の周りにいったん折り曲げられると、包装容器3の形状は、包装材のシート22の重ねられた部分を熱融着することにより固定される。

40

【0022】

タバコの群4の周りに折り曲げられる前に、包装材のシート22は、拔出し開口5を画定するために切られ、次に、内面にのり付けがされている覆い蓋6が、包装材のシート22に貼り付けられる。すなわち、覆い蓋の内面は、拔出し開口5の内側において、包装材のシート22の内側部分が永久的に覆い蓋6に接着され、拔出し開口5の外側において、包装材のシート22が取外し可能に覆い蓋6に接着される再貼付けの接着剤により覆われ

50

ている。

【0023】

図5に示されるように、包装容器3は、硬質の厚紙により形成され（外側容器2およびカラー17の材質と同一であり）、そしてタバコの群4に接触して包装容器3の内側に挿入されているU字状の補強材23を備える。補強材23は、タバコの先端により画定されるタバコの群4の底壁に接触して配置されている四角形の底壁24と、底壁24の短い辺に接続されており、タバコの円柱状の側壁により画定されているタバコの群4の小さな側壁に接触して配置されている2つの側方タブ25とを備える。

【0024】

図示されていない変形においては、補強材23のそれぞれの側方タブ25は、タバコの群4の上壁の上に折り曲げられる上部付加物を有していても構わない。

10

【0025】

図示されていない更なる実施形態においては、長手方向の端15が四角形になっておらずに、（特許EP0204933B1に記述されている様に）傾斜していたり、（特許EP0205766B1に記述されている様に）丸くなっていたり、または、（特許出願WO0043289A1に記述されている様に）枕の形状を有していたりするときに、補強材23のそれぞれの側方タブ25は、外側容器2の長手方向の端15の形状に適合するように、少なくとも2つのそれぞれの長手方向の折り線に沿って折り曲げ可能な2つの側方部分を備えていても構わない。外側容器2の長手方向の端15が傾斜している場合には、それぞれの側方部分は、1つの長手方向の折り線に沿って折り曲げ可能であり、そして、外側容器2の長手方向の端が丸まっているか枕の形状である場合には、それぞれの側方部分は、多数の平行な近接して離れた長手方向の折り線に沿って折り曲げ可能である。

20

【0026】

補強材23は、部分的に充填されている包装容器3の形崩れが生じ、従って残っているタバコを取り出すことを困難にし、そして特に、覆い蓋6の開閉を困難にすることを防止するために、補強を提供し、そして包装容器3の形状を維持する。補強材23のさらなる機能は、包装材のシート22を折り曲げるときに、タバコの適切な機械的な保護を提供し、包装材のシート22の重ねられる部分を熱融着する時に、タバコの適切な機械的および熱的な保護を提供し、そして、包装容器3を取り扱うときにタバコの適切な機械的な保護を提供する。

30

【0027】

図1から図5の実施形態において、拔出し開口5の覆い蓋6は、包装容器3の前壁において掴みタブ21と共に配置されており、それ故に、上側に向かって開けられ（すなわち、包装容器3の前壁から上壁に向かって開かれ）、そして、覆い蓋6の上部は、包装容器3の上壁に接触したまま残る。図6の変形においては、拔出し開口5の覆い蓋6は、包装容器3の上壁の上の掴みタブ21と共に配置されており、それ故に、下側に向かって開かれ（すなわち、包装容器3の上壁から前壁に向かって開かれ）、そして、覆い蓋6の底部は、包装容器3の前壁に接触したまま残る。掴むことを容易にするために、掴みタブ21の一部分または全部は、包装容器3の上壁から後壁に向かって飛び出しているとしても構わない。

40

【0028】

図3に示される一つの可能な形態においては、タバコの包装体1の外側容器2は、少なくとも1つの貫通する窓26を有し、下側の包装容器3まで通り抜けており、そして、包装容器3が透明であるので、群4のタバコを見ることができる。図3に示されるように、窓26は、外側容器2の後壁13（カラー17により係合されていない）を通じて形成されている。代替的には、窓26は、外側容器2の前壁12（カラー17により係合されていない部分において）を通じて形成されていても構わない。窓26は、窓26の周りで外側容器2の内面に固定されている透明な樹脂材料のシートにより内側から閉じられていても構わない。

【0029】

50

図5において破線により示される更なる形態においては、包装容器3に接触する少なくとも1つのタバコの外側に向かう表面には、図形27（例えば、ロゴマーク、言葉、図、隣接するタバコに印刷された他の文字と共に言葉を形成している文字）が印刷され、図形は、包装容器3が透明であるので、包装容器3の外側から見る事ができる。好ましい形態においては、図形27（もしくは概して図形27）は、外側容器2の外側から（すなわちタバコの包装体1の外側から）見る事ができるように、外側容器2を貫通する窓26の位置に配置されている。

【0030】

抜き出し開口5は、包装容器3の中央部分を覆うのみであるために、側方のタバコが不可避免的に隠されており、そして、タバコの包装体1の通常の使用期間中には、特に、包装容器3が「密接して引かれている」場合、すなわち、実質的に隙間なくタバコの群4の周りに包まれた場合には、取り出すことが困難であるだろう。側方のタバコを取り出しを容易にするために、図7から図12の実施形態に示されるように、改善された補強材23が提案されてきている。

10

【0031】

図7から図12に示されるように、2つの弾性体28は、弾性的な押圧力を働かせ、従って、タバコの群4を抜き出し開口5に対向する中央位置に保つために、包装容器3の内側および両側に配置されている。言い換えれば、タバコの群4は、2つの弾性体28の両側の側面に立っており、弾性体は、初めは十分に圧縮され、そして、タバコの群4の残りの部分を抜き出し開口5に対向する中央位置に保つために、タバコが抜き出し開口5を通じて取り出されると共に徐々に広がる。

20

【0032】

好ましい形態においては、2つの弾性体28は、補強材23により支持されている。より特定的には、それぞれの弾性体28は、厚紙のシートを備え、シートは、少なくとも一部分がアコーディオンの形状に折られ、そして、少なくとも1つの長手方向の折り線29に沿って補強材23の側方タブ25に固定されている。

【0033】

図7から図10の実施形態においては、それぞれの弾性体28は、それぞれの長手方向の折り線29に関してアコーディオンの形状に折られた3つのパネル30を備える。変形においては、それぞれの弾性体28は、明らかに、異なる数（例えば1つ、2つ、4つまたは5つ）のアコーディオンの形状に折られたパネル30を備えていても構わない。図11および図12の実施形態においては、それぞれの弾性体28は、中央パネル31と、側方パネル32の2つの群とを備え、それぞれにおいて、側方パネル32が、それぞれの長手方向の折り線29に関してアコーディオンの形状で折られる。好ましくは、側方パネル32のそれぞれの群は、それぞれの長手方向の折り線29についてアコーディオンの形状に折られている2つの側方パネル32を備える。

30

【0034】

好ましい形態においては、弾性体28（すなわち、パネル30、31、32）は、抜き出し開口5から所定の距離を空けて配置されるために、包装容器3よりも高さ、すなわち長手方向に短く、このために、抜き出し開口5に近接して、タバコの群4の側面が明確（すなわち弾性体28により係合されていない）になり、使用者が群4からタバコを容易に取り出すことが許容される。

40

【0035】

弾性体28により、タバコの群4は、ほとんど完全に消費されたときでさえも、抜き出し開口5に対向する中央位置に維持され、このように、抜き出し開口が包装容器3の中央部分のみにわたっているにも関わらず、抜き出し開口5を通じてタバコを容易に早く取り出すことを可能にする。

【0036】

包装容器3が上述の透明な樹脂材料により形成されているか、または不透明の樹脂材料（典型的には灰色の箔）により形成されているかどうかに関わらず、示されたこれらの利

50

点および弾性体 28 は、中央の拔出し開口 5 を有する任意の種類のパッケージ 3 と共に用いることができることに注意することが重要である。

【0037】

さらに、図示される実施形態において、記述されたパッケージ 3 は、パッケージ 3 を収容する外側容器 2 を備える硬質なたばこの包装体 1 の一部分を形成する。図示されていない他の実施形態においては、記述されたパッケージ 3 は、部分的にパッケージ 3 を包む（上壁が自由なままになっている）外側パッケージを備える軟質なたばこの包装体の一部分を形成していても構わない。更なる実施形態においては、記述されたパッケージ 3 は、たばこのパッケージを構成し、この場合においては、透明な包装材のシート 22 の外面が（法律、ロゴマーク、意匠、商標等により要求される情報と共に）印刷されていても構わない。

10

【0038】

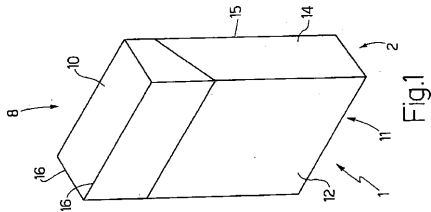
上述されたパッケージ 3 は、多くの利点を有する。特に、補強材 23 を容易に折り曲げることができるために、たとえ一般的な包装機械においても、安価および容易に製造することができる。この結果、上述のたばこの包装体 1（パッケージ 3 を収容する）は、特別な目的の機械を必要とすることとは対照的に、一般的な包装機械により製造することができる。

【0039】

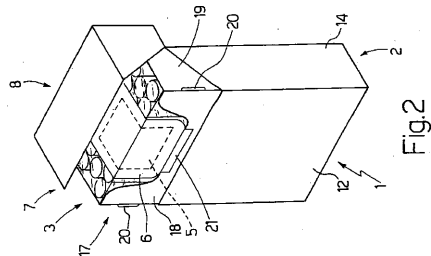
更に、極端に薄くおよび柔軟に形成し、包装材のシート 22 は、たばこの群 4 の外面形状を忠実に再生することができ（すなわち、四角形の端を形成することができ）、このように、消費者の間で、より人気の高い「四角形」に仕上げられたパッケージ 3 になる。

20

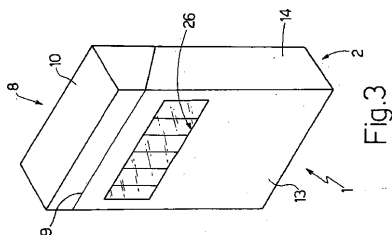
【図 1】



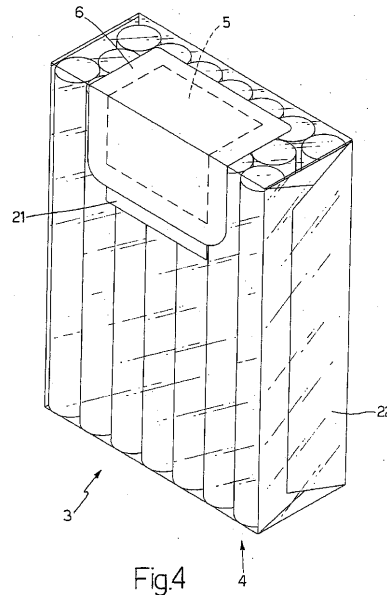
【図 2】



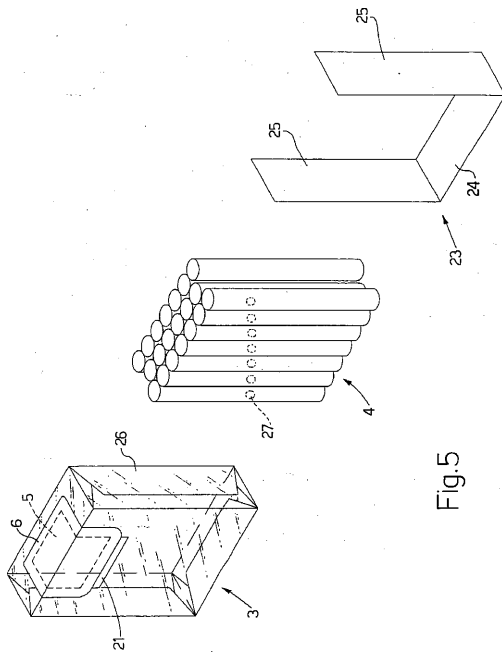
【図 3】



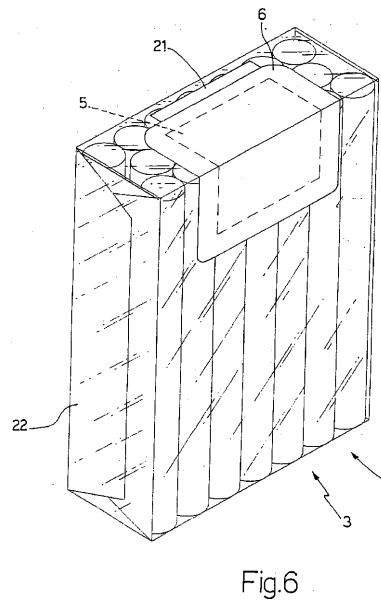
【図 4】



【図 5】

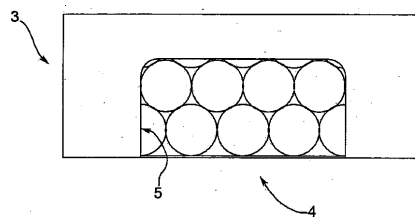


【図 6】



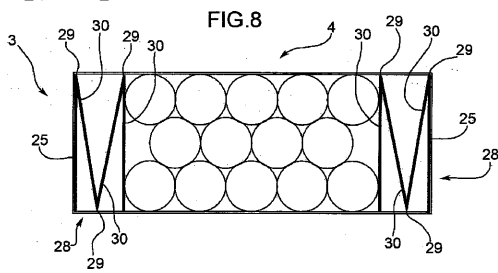
【図 7】

FIG. 7

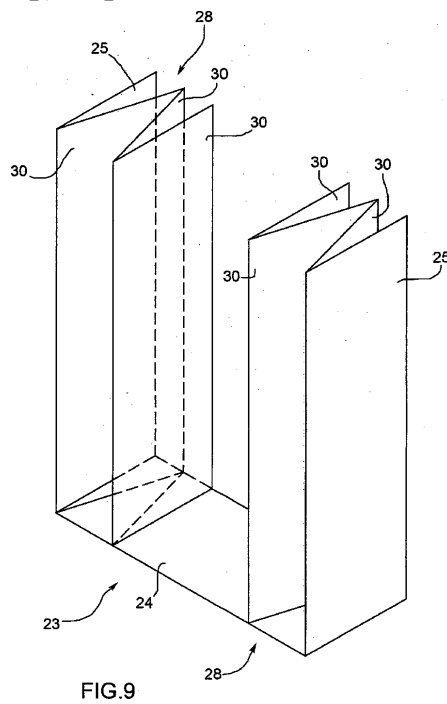


【図 8】

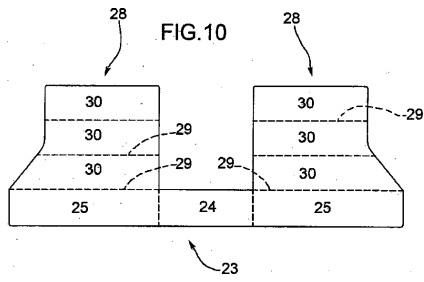
FIG. 8



【図 9】

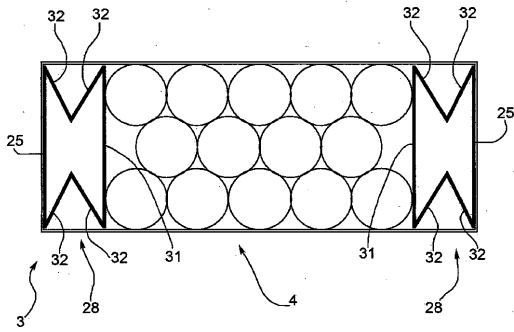


【図 10】

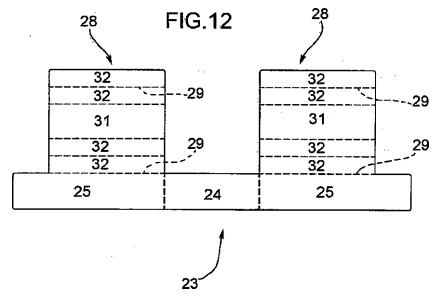


【図 11】

FIG.11



【図 12】



フロントページの続き

(74)代理人 100123582

弁理士 三橋 真二

(74)代理人 100141081

弁理士 三橋 庸良

(72)発明者 ビオンディ, アンドレア

イタリア国, イー40133 ボローニャ, ビア ピアーベ, 6

(72)発明者 ベルトウツツィ, イバノエ

イタリア国, イー40033 カサレッキオ ディ レノ, ビア サンドロ ペルティーニ, 2

(72)発明者 ポローニ, ロベルト

イタリア国, イー47015 モディリアーナ, ビア レガ, 91

(72)発明者 スクワルツォーニ, ミケーレ

イタリア国, イー44100 フェラーラ, ビア パオロ クイント, 22

審査官 佐野 健治

(56)参考文献 特表2001-504069 (JP, A)

実開昭56-006877 (JP, U)

実開平02-026499 (JP, U)

(58)調査した分野(Int.Cl., DB名)

B65D 85/10

B65D 5/66

B65D 83/02